

みどりのボランティア活動における 新型コロナウイルス感染防止対策

1. 活動に参加する際の注意事項

(1) 活動前

- 自宅での健康状態を確認してください。以下の項目に1つでも該当する場合は参加を控えてください。
 - ・検温を行い、37.5℃以上（または平熱1℃超過）の発熱がある。
 - ・せきや、のどの痛み、違和感がある。
 - ・体のだるさ（倦怠感）を感じる。
 - ・嗅覚・味覚の異常がみられる。
 - ・家族、同居する人に発熱や上記の症状がみられる。もしくは感染者がいる。
- 室内履き、マスクを持参してください。

(2) 移動時（自宅⇔活動先）

- 濃厚接触の回避を心掛けてください。
できる限り公共交通機関の利用を避けてください。利用が不可欠な場合は、混雑時を避け、接触感染防止に努めるなど注意をしてください。
また移動中はなるべくマスクを着用してください。（マスクはなるべく各自で用意すること。）
※マスク着用については（4）熱中症についても参考にすること。

(3) 活動中

- 自分の健康状態にも気を付けてください。
せきやのどの痛み、体のだるさ（倦怠感）を感じたときは、すぐに職員に伝えてください。
またなるべくすぐに帰宅しましょう。
- 石けんでの手洗いやアルコール消毒液での手指消毒を徹底してください。
- 3密（密閉・密集・密接）を避けてください。
研修室での待機中は、窓や扉を開け、換気を行います。（研修室の定員は18人までとしま

す)

人と人の感覚をあけてください。(できるだけ2m、マスク着用時は最低1m)

- できる限り個人の所有物を使用し、貸し借りは行わないようにしてください。
共有する場合は、消毒や手洗いをするようにしてください。
- 活動中もマスクを着用してください。ただし、熱中症対策として密接を避けられる場合は適宜マスクを外してもよいです。その場合は、人との距離をとり、手で口や鼻に触れないようにしてください。また活動中は、大声をだしたり顔を近づけて会話をしたりなどは、避けるようにしてください。

(4) 熱中症について

マスク着用時は熱中症のリスクも高くなります。暑さやほてり、気分が悪くなった場合は、早い段階で人から距離を置いてからマスクを外し、体温を下げるようにしましょう。

密接を避けられる場合はマスクを適宜はずす。また活動中でも定期的な水分補給を心掛けましょう。

(5) 活動後

- 活動後も石けんでの手洗いやアルコール消毒液での手指消毒を徹底してください。
- 活動が終わったら速やかに帰宅してください。

2. その他の注意事項

自らの感染・濃厚接触者の可能性が発生した場合は、すぐに厚木保健福祉事務所大和センター (TEL 046-261-2948) へ連絡してください。

皆さまに施設を安全、安心してご利用いただくためのものです。ご協力お願いいたします。